

大桑 第72号 11月号 まさたか



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員2期目

よろしくお願ひします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

被害総額4,771万円

大桑新聞10月号(先月号)でもお知らせしましたが、今年に入って全国的に振り込め詐欺の被害が増加しており、残念ながら栄区においても増加傾向にあります。栄区内における平成20年9月末現在までの振り込め詐欺の件数と額は次の通りで、25件(50歳代～80歳代)、4,771万円となっております。

振り込め詐欺の被害にあわれた方に共通していることは「みんな振り込め詐欺のことは知っていた」というところです。実際に、振り込むときに銀行員などに声をかけられたにもかかわらず振り込んでしまった方もいるようです。

これまでも大桑新聞で繰り返してお知らせしておりますが、振り込め詐欺を他人事とは思わず「いつ自分に起きてもおかしくないこと」だと考えて下さい！是非、いつもと違う電話がかかってきたときは、家族や友人、警察などに相談をして下さい。

大桑新聞

第72号(11月号)

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

<http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子(2人)、ママ(猫)、グリ(犬)

(ママとグリはそれぞれの実家にいます)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

9月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成20年度9月現在の政務調査費累計残高は **234,333円**です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	151,760円	会議費	0円
調査研究費	15,640円	事務費	16,591円
資料費	7,170円	事務所費	90,704円
広報・広聴費	346,049円	その他	0円
人件費	20,262円		

9月の支出合計は

648,176円です。

近況報告

平成20年10月15日(水)で平成19年度決算特別委員会が終わりました。次は、11月27日(木)から12月12日(金)の予定で第4回定例会が開催されることになっております。

しかし、第4回定例会の開催時期は衆議院の解散がうわさされている時期でもありますので(衆議院が解散した場合には横浜市にも影響があるので)本会議の開催時期が変わる場合もあります。ご理解頂ければと思います。

また、衆議院が解散した場合、栄区においては栄区選出の市議員(民主党)が衆議院選挙への立候補を予定しているため(予定通り衆議院選挙に立候補した場合)栄区の市議員が欠員となり、市議員の補欠選挙がおこなわれることとなります。市議員の補欠選挙は近々解散するであろう衆議院選挙と同時に起こされると言われていますので、この市議員選挙についてもご理解頂ければ幸いです。

緑新税について

大桑新聞9月号で緑新税について書きましたが、賛否両論のご意見を頂きました。貴重なご意見ありがとうございました。この緑新税ですが、横浜市は早ければ11月27日から始まる第4回定例会に提案する予定でいるようです。

私は緑新税について、前回「安定的に緑を守るために必要だ」と書きましたが、その考えは変わっておりません(現在、横浜市の提案では年間1,100円の予定です)。今回の緑新税について5年間という時限付き(5年後に見直す)の提案ということも含め、私は、緑を守るために安定した財源が必要だと考えているので、緑新税には基本的に賛成です。これも前回も書きましたが、誰もが増税は好みません。しかも、このように景気が不安定な時期であればなおさらだと思います。

しかし、視点を変えれば、この不景気によって横浜市の税収が減少すれば、今まで以上に緑を買い取るための予算が削られることとなります。

また、無駄を徹底的になくし対応するべきだとの意見がありますが、私は、もし無駄があり無駄をなくすことができるのなら、6兆円近い横浜市の借入金の返済にあてるべきだと考えています(日本全体の借金は1,000兆円を超えていると言われています)。これからの日本は生産年齢人口(15歳～64歳)が減り、高齢者(65歳以上)が増えていきます。これはデータの一つで「絶対」ではありませんが、平成17年に約8,400万人いた生産年齢人口が50年後には約4,600万人まで減少するとされています。逆に、高齢者は平成17年の約2,600万人から50年後には約3,600万人に増加するとされています。簡単に言えば、収入は減るのに、支出が確実に増えるのです。今ここで踏みとどまらなければ、すべて(緑が減り、借金は残り、福祉にかかる費用が削減されるなど)子供たちに振りかかることになるのです。ご理解頂ければと思います。